

2012年6月28日（木）

大阪大学コンベンションセンター

平成24年度 国公立大学病院附属病院医療安全セミナー

危機的状況におけるリーダーシップ ～ACLSコースに学ぶチームリーダー～



- ・ 国家公務員共済組合連合会
シミュレーション・ラボセンター
ラボマネージャー／臨床工学技士
- ・ AHA JSISH-ITC
BLS/ACLSインストラクター

大森 正樹



本日の内容

- 事例にまなぶ
(理想のチームリーダーはどっち?)
- AHA ACLSコースの概要
(我が国と米国と現状。その違いは?)
- 危機的状況下のリーダーシップ
(コードブルーの限界と院内救急対応チーム)

事例に学ぶ

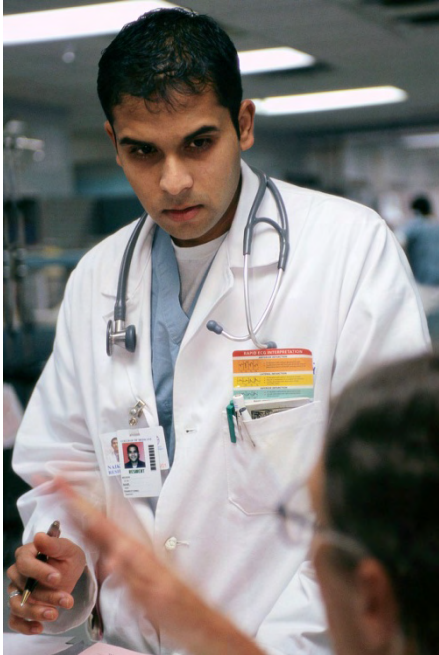


「理想の医師は？」

平成24年度 連合会病院初期研修医研修



『S先生』と『K先生』の違いは？



S先生：腎臓内科医



K先生：呼吸器内科医

注）本事例と写真の人物とは、なんら一切関係ありません。



AHA ACLSコース概要

- AEDを用いたBLS
- 手動式除細動器の使い方
- 気道管理
- 以下の項目をガイドラインのアルゴリズム沿って対応
 - ・ VF/Pulseless VT、PEA/Asystole
 - ・ 頻脈（安定、不安定）、徐脈
 - ・ 脳卒中、急性冠症候群
- 質の高いCPR、**チーム**一丸となって蘇生という目標に向かって活動するための**チームダイナミクス**



チームダイナミクスの要素

1. クローズドループコミュニケーション
2. 明確な指示
3. 明確な役割と責任分担
4. 自己の限界の認識
5. 情報の共有
6. 建設的な介入
7. 再評価のまとめ
8. 互いの尊重

AHA JSISH-ITC ACLSコース



AHA コース?



専用の個室があるが、simulatorとパソコンがあるのみ。
自分でパソコンを操作して実施し、インストラクターは付かない。
インストラクターはテストの時のみ、合格すれば認定カードが発行される。

※出典元 井田 雅祥（虎の門病院副院長）

平成22、23年度 厚生労働科研地域医療基盤開発推進研究事業

「医療の質・安全向上を目的としてシナリオをベースとしたフルスケールシミュレーターを用いた研修の
有用性と遠隔教育の可能性」の研究活動の一環として施設見学時に撮影

チームとチームリーダー



危機的状況下でのリーダーシップ

「急性期医療の危機管理」11章成功の鍵：チームワーク、13章リーダーシップから抜粋

- ✓ 病院内の緊急事態の際には、リーダー役は通常**医師に**割り当てられる。
- ✓ 危機的状況においてよいチームプロセスを生かすならば、
チーム技術を「日常的」に繰り返し練習する必要がある。
- ✓ 注意深い交流を、**通常業務に**すること。

1. 間違っていました
2. よくやった
3. どう思う？
4. ～にしてもらえないか
5. ありがとう
6. 我々

• 『わたし』

M.セントピエール（著）
G.ホーフィンガー（著）
C.ビュアシャーバー（著）
澤 智博（訳）
出版社：シュプリンガー・ジャパン



急性期医療の 危機管理

チーム医療とヒューマンファクター



Crisis Management in Acute Care Settings

Springer

まとめ

➤院内における危機的状況下での『チームリーダー』は？

- ・リーダーは医師であろう。
- ・医師は日常業務からのリーダーシップを発揮して頂きたい。
- ・メンバーはリーダーにたして『建設的な介入』を心がける必要性。

➤心肺蘇生講習などのシミュレーション研修の有用性は？

- ・有用である。
- ・ただしリーダーだけ、あるいはメンバーだけが研修しても効果は発揮されない。
- ・チームパフォーマンス向上を目的としたシミュレーションコースの必要性。

➤シミュレーション教育のみでチームパフォーマンスは向上するか？

- ・シミュレーション教育の限界はある。
- ・日常業務から、医師、看護師、医療技術職間での良好なコミュニケーション。
- ・院内救急対応チームとその体制の構築について検討する必要。